

2023（令和5）年度全国地学教育研究大会

日本地学教育学会第77回全国大会（滋賀・大津大会）（二次案内）

主催：日本地学教育学会 共催：滋賀大学

後援：文部科学省・滋賀県教育委員会・大津市教育委員会・草津市教育委員会・全国高等学校長会・全日本中学校長会・全国連合小学校校長会・日本私立中学高等学校連合会・高等学校文化連盟全国自然科学専門部・日本理科教育学会（予定）

日程：2023年8月24日（木）～8月26日（土）

大会テーマ：持続可能な社会をつくる地学教育

会場：滋賀大学大津キャンパス（〒520-0862 滋賀県大津市平津2-5-1）

<開催方針>

新型コロナウイルス感染症による活動制限が解除されつつある中、今年度は、8月に対面での学会・研究大会を開催できる可能性は極めて高い。そこで、滋賀大会は研究発表、講演・シンポジウム等を対面実施し、巡検も行う。

（懇親会も実施予定）

<参加資格>

大会への参加は、正会員、ジュニア・ポスター発表生徒および引率教員を基本とする（日本地学教育学会第77回全国大会）。地学教育および地学教育学会に興味を持つ教員・教育関係者も、所属等の情報を明示したうえで個別に参加申し込みをすることで、参加を認める（2023年度全国地学教育研究大会）。なお、参加費は別途決定する。協賛企業に関しては、参加を可能とする。

<発表について>

全て対面での口頭発表および、ポスター、ジュニア・ポスターでの発表を募集する。口頭発表は、発表希望人数に応じて2または3つのセッションを並行して進行する。通常の一般口頭発表は1人1件に限られる。

<今後のスケジュール>

5月下旬	実施要項 大会第2次案内
6月上旬	ジュニア・セッション(SSH等)案内申込開始
6月上旬	巡検・ワークショップ案内申込受付開始
7月上旬	発表申込受付開始
7/28(金)	巡検申し込み締め切り
7/28(金)	発表・アブストラクト提出締め切り(メール)
	講演要旨集の編集
8月上旬	プログラム編成
8/23(水)午後	常務委員会(JR 大津駅前サテライト)
8/24(木)~26(土)	滋賀大津大会開催(24,25), 巡検 26日

<大会スケジュール(予定)>

	8/23 (水)	8/24 (木)	8/25 (金)	8/26 (土)
9:00~10:00	危機管理センター見学 評議員会	受付 開会式	口頭発表予備	巡検 2コース
10:00~11:00		口頭発表1 2部屋で16名	ポスターセッション	
11:00~12:00			ジュニアポスターセッション (SSH等)	
12:00~13:00		(昼休み)	(昼休み)	
13:00~14:00		総会, 学会賞・学術奨励賞授与式	口頭発表3 2部屋で16名	
14:00~15:00		基調講演(滋賀大学教授)「日本の歴史を変えた近江の地学環境」		
15:00~16:00		口頭発表2 2部屋で24名	閉会行事・表彰式	
16:00~17:00			ワークショップ 天文関係	
17:00~18:00				
18:00~20:00		懇親会		

巡検（8月26日）

実施方針：ジオパークに指定されている地域はないが、県内に地学的な見所は存在する。巡検地は交通の不便が悪く、マイクロバス使用予定。コロナと共に熱中症にも配慮するため、宿泊は行わず1日で以下のコースにおいて実施する。

コース1 多賀町立博物館(天然記念物アケボノゾウ骨格化石)と河内風穴(古生代石灰岩鍾乳洞)」（地質学雑誌NLに掲載） マイクロバス20名

アケボノゾウ化石を産出した古琵琶湖層と多賀町立博物館の見学、および博物館と地域の学校教育との連携。また古生代石灰岩に発達した鍾乳洞(河内風穴)の見学

コース2 「石山寺の珪灰岩と滋賀県立琵琶湖博物館」マイクロバス 20名



石山寺の珪灰岩は国の天然記念物にもなっており国宝五重塔との調和も見所。石山寺は来年度NHK大河ドラマ紫式部「源氏物語」とのゆかりが深い。世界有数の「古代湖」である琵琶湖をテーマとする総合博物館であり、学校教育との連携も特色である。